

NPO法人兵庫県

2021年度(令和3年度)事業報告

はじめに

2021年度は心待ちにした二度にわたるワクチン接種実施ありました。大部分は透析施設での実施でしたが一部大型接種会場があり接種予約ならび実施に混乱があったと聞いています。それもワクチン接種をすればいろんな事業の活動ができると期待して計画しては中止や延期になり、新型コロナウイルス感染が色々と形を変え、なかなか落ち着かない状態でした。創立50周年記念大会をはじめ、各種関係団体との会議や交流などがすべて中止になりました。その中で大きな取り組みとしては二つあります。1つは最小限の人数で活動出来る日に「透析患者のくらしを守るための事業」として「県下41市町要望懇談」を実施しました。21市町要望懇談はできましたが、後は書面での回答でした。前代未聞の感染の広がりとともに医療費が増えているというメディア情報の中、勝手ながら透析患者の「重度障害者医療費助成制度」の継続を切に訴えてきました。2つ目は例年兵庫県と一緒に開催している「兵庫慢性腎臓病シンポジウム」を丹波篠山市で実施できました。糖尿病腎症や腎臓病にかかわる方々が少しでも保存期の継続をし、透析に至らないように広く地域に寄与しました。会員の皆様には各ブロックや各患者会でも交流ができず、不安な日々を過ごされていた方々には本当に申し訳ありませんでした。また各透析施設の代表幹事の高齢化や代表幹事のなり手がなく患者会解散がいくつもあったことは、残念でなりません。ただ、新しく取り入れたものとしましては。組織委員会のメンバーの中から拡大して「Web委員会」を立ち上げて腎友会のウェブサイトの再新をしましたので、いろんな案内や報告の情報がスマートフォンやタブレットからでも見ることができます。

各委員会活動としては、女性交流会を丹波篠山で実施したり、Genki-up委員会作成の「Genki-up体操」の冊子をいち早く創立50周年記念品として配付いたしました。残念ながら記念大会は延期になりましたが、次年度はなんとしても開催したいと準備を進めています。各委員会は時間の許す範囲で会議を開催し、会員の皆様の安心で安全な透析治療が受けられるように、努力しました。

以下、2021年度の事業取り組みについて具体的内容を併せて報告します。

主たる活動と成果

■特定非営利活動に係る事業

I 腎臓病患者の暮らしを守るための事業

新型コロナウイルス感染が2021年度も猛威をふるいました。第3波から第6波となるに従い新規感染者数が増大し、重症化しやすい透析患者にとって不安な日々を過ごした毎日でした。そんな中、例年開催している要望懇談は書面回答の市町が20カ所ありましたが、私達が生活していく上で欠かせない（重度障害者医療費助成事業」の継続を要望し、21カ所を訪問しました。

各政党との政策要望懇談は新型コロナウイルスに関する懇談を実施し、透析医会の先生方とも32回目の懇話会を開催しました。

また国会請願署名はコロナ禍の中、東京での請願行動は中止になりましたが、たくさんの署名をいただき、皆様のご協力に感謝します。全腎協から一斉に国会へ届けていただきました。

2021年度も新型コロナウイルスの対応におわれましたが、理事会や委員会は会合にあたりディスタンスの確保、手指の消毒、マスク着用等感染対策を万全にし開催しました。ウィズコロナで感染対策をしながらの行事開催に加えリモートも徐々に取り入れた一年でした。

1. 県・市・町行政・議会との懇談及び要望活動

(1)新型コロナウイルス関連緊急要望書提出

①兵庫県 新型コロナウイルスワクチンについての緊急要望書提出（4/22）

②神戸市 新型コロナ感染症に関する2021年度第1次緊急要望書提出（5/24）

(2)兵庫県

①2022年度当初予算編成にかかる要望書提出と担当部局との懇談 今年面談できず

(3)兵庫県議会各会派及び各市議会議員との政策要望懇談

①自民党県会議員団（3/17）自民党神戸市会（10/5、3/24）

②公明党（7/9リモート）

③国民民主党・立憲民主党（7/31、11/16）

(4)市町行政・議会との政策要望懇談兵庫県内市町と周辺市町

西宮市（7/13）芦屋市（7/20）宍粟市（7/29、2/18、21）尼崎市・川西市・市川町（8/3）丹波篠山市（8/10）赤穂市・小野市・能勢町（8/17）相生市・稲美町（8/19）伊丹市・宝塚市・姫路市（8/24）三田市（8/31）神戸市（11/5）朝来市・養父市（11/11）香美町・新温泉町（11/12）

書面での回答

明石市・高砂市・加古川市・三木市・淡路市・洲本市・南あわじ市・西脇市・加西市・加東市・たつの市・丹波市・豊岡市・播磨町・多可町・上郡町・福崎町・神河町・佐用町・太子町

2. 第51次国会請願署名・募金活動の取り組み

①取組期間 2021年11月～2022年1月末日

②署名・募金結果 ※下表参照

③国会請願行動（2022/3/17）※新型コロナウイルスのため中止

第51次国会請願署名・募金集計表

ブロック名	今回筆数	前回筆数	前年度比	募金(円)
阪 神	7,142	8,703	-1,561	767,926
神 戸	3,257	4,225	-968	782,650
東 播	2,349	3,885	-1,536	449,178
丹 播	742	1,288	-546	158,000
淡 路	1,449	2,614	-1,165	131,900
西 播	2,328	3,373	-1,045	467,600
但 馬	683	624	59	80,390
そ の 他	41	0	41	1,000
合 計	17,991	24,712	-6,721	2,838,644

3. 危機管理対策事業

- (1) 会員証の作成・『透析患者災害時活用カード』の刷新と配付
- (2) 『兵庫県透析患者災害時支援名簿』の管理
 - ①登録業務
 - ②県及び市町への名簿提供と消防部局との連携
要望懇談時に各市町へ登録情報提供
 - ③県外市町へ名簿提供
 - ④担当事務局員の配置
- (3) 『レスキューポット』(緊急連絡シート)の配付
- (4) 一斉メール配信事業
月1回の定期配信(1月17日には安否確認訓練の実施)
3月末で配信停止
- (5) 新型コロナウイルス感染防止の取組
10月 マスク(7枚入り)の配付
3月 マスク(7枚入り)の配付

4. 医療機関との連携

- (1) 兵庫県透析医会との懇話会(4/17開催予定が延期)
 - ①日時 12月25日(土)16:00~17:00
 - ②会場 福建会館会議室
 - ③出席 松菱 小谷 宮本 森田
- (2) 透析施設との懇談
ブロック毎に実施

II 組織強化に関する事業

昨年度同様に新型コロナ感染拡大の影響で対面での会議などの制限があり、十分な活動はできませんでしたが、その中ではあります、10月に入会促進チラシの配布を行い、直後に若干の入会増がありました、死亡及び退会の人数には及ばず、昨年同様に減少に歯止めが掛けられませんでした。

アンケート等で「我々の活動が見えない」といったことや、高齢化が進んでいる中、若手の会員入会促進が必要であり、インターネット等のソーシャルネットワークを活用した情報発信が必要であることから、組織委員会内にWeb委員会(リモート会議)を発足し、既存のウェブサイトの内容を全面的に見直し、我々の活動を広く、タイムリーに情報を発信することを新年度のスタートである4月1日からリニューアルしたウェブサイトを展開することができました

1. 患者会活動の支援

- (1) ブロック役員会の開催
- (2) 代表幹事会の開催
- (3) 地域腎友会の活動支援

2. 入会促進活動の継続

- (1) 災害時支援名簿資料他を含めた入会案内セットの作成と配布
- (2) 「活動の手引き2021年度版」の作成
- (3) 透析施設との懇談と協力体制の構築及び維持
- (4) 患者会への支援(総会・学習会開催等)
- (5) 全腎協との連携

3. 第22 通常総会の開催

- ①日時 6月12(土)10:00~12:00
- ②会場 福建会館会8階会議室
- ③出席 少人数で開催し書面表決書を活用する

4. 理事会の開催

- (1) 第111回5月(書面表決)
- (2) 第112回(7/3 福建会館)

- (3)第113回(9月書面決議)
- (4)第114回(1/23 福建会館)
- (5)第115回(3/27 福建会館)

5. 運営委員会の開催

委員会の設置と取組

- (1)組織委員会 (2)危機管理委員会 (3)要介護対策委員会 (4)編集委員会
- (5)Genki-up 委員会 (6)女性委員会 (7) Web 委員会(8) 事務局長会議
- (9) 作業所運営会議(10) 予算委員会 (11) 50周年記念事業実行委員会

■ 組織現況

1. 兵庫県内透析施設 200 施設

2. 患者会数 127 患者会

3. 会員数の推移

集計年度	登録会員数(人)	増減(人)
2010	6,427	-154
2011	6,332	-95
2012	6,195	-137
2013	6,036	-159
2014	5,768	-268
2015	5,611	-157
2016	5,427	-184
2017	5350	-77
2018	5,159	-191
2019	5,015	-144
2020	4,942	-73
2021	4,626	-316

賛助会員（団体）108 団体
 賛助会員（個人）302 名
 賛助会員（家族）567 名

Ⅲ.腎臓病の予防、および治療に関する知識の普及と啓発事業

昨年同様コロナ禍ではありましたが2021年度も県からの委託事業「兵庫慢性腎臓病シンポジウム」を丹波篠山市で無事に開催できました。大きなホールで感染防止に万全の態勢で実施できましたことは、丹波篠山市や登壇の先生方のご協力のおかげだと感謝申し上げます。

また兵庫県透析医会や移植の関係団体、各市町主催の「市民講座」も6月に実施した播磨町の「健康講座」以外ははすべて中止もしくは延期になりました。移植登録をされている方には情報提供出来ず申し訳ございません。

兵庫県明石市での大会も中止になりましたが、30年、35年、40年の長期透析者表彰は、賞状ならび記念品を送付させていただきました。

1. 慢性腎臓病(CKD)対策事業

(1)兵庫慢性腎臓病シンポジウム2021(兵庫県からの委託事業)

- ①開催日時 2021年3月13日(日) 13:30~16:00
- ②開催場所 丹波篠山市 四季の森生涯学習センター 多目的ホール

(2)各市町でのイベントへの参加

下記CKD活動状況参照 (兵庫県内箇所 対象者名)

開催日	ブロック	イベント名	会場	参加人数
6月29日	東播	播磨町「健康講座(腎臓病)」	播磨町中央公民館	38
7月28日	東播	加古川市オンライン講座	加古川市市民健康課	
10月5日	東播	高砂市 市民健康講座		延期
10月6日	東播	稲美町「糖尿病教室」		延期
10月21日	東播	高砂市 地域連携講座CKD		延期
11月28日	東播	三木市 難病相談会		延期
3月13日	兵庫県	兵庫慢性腎臓病シンポジウム2021丹波篠山	四季の森生涯学習センター	49

2. 臓器移植医療の普及啓発事業

- (1)臓器移植推進キャンペーン(神戸まつり5/16)中止
- (2)兵庫腎疾患対策協議会 通常総会(7/15) 書面表決
- (3)兵庫県臓器移植推進協議会 通常総会(10/15) 書面表決

3. 兵庫県腎友会大会の開催

- ①日時 9月26日(日) 10:30~15:30
 - ②会場 明石市民会館大ホール
- 新型コロナウイルス感染拡大により中止

4. 長期透析者表彰

透析歴30年 10名、透析歴35年 7名、透析歴40年 1名

5. 50周年記念事業

- ①『透析患者がつくった透析患者のための元気アップ運動&日常役立つ透析用語集』を Genki-up 委員会と協同で発行 9月
- ②会報「きぼう」No.154 創立50周年記念特別号の発行 10月
- ③活動の記録「50年のあゆみ」発行 3月
- ④「感謝の集い」の開催 10月開催予定 延期、2月開催予定 延期
2022年5月開催
- ⑤50周年実行委員会 開催(4/22、6/12、10/31)

IV. 腎臓病患者の自立を支援する事業

これまで透析患者の自立を支援することを目的とし、各ブロックや委員会で協議して会員やご家族のみなさんにご参加していただくよう様々な事業を展開してきましたが、2021年度も新型コロナの影響で、交流会をはじめブロックで開催する参加型の事業が開催できませんでした。

女性委員会では11月に丹播ブロック・丹波篠山市にて交流会を開催しました。神戸・明石での活動に中々参加できない会員さんとの交流また女性委員同士もオンラインではない、久々の対面での活動となりました。会報誌「きぼう」への連載記事『粹に生きる！私(女性会員)の透析ライフ』も引き続き掲載しています

Genki-up 委員会では昨年度に引き続き、会員の皆様に元気で楽しい毎日を過ごすためのひとつの例として、会報誌「きぼう」に「余暇の過ごし方は旅行やド

ライブ」「エネルギーの源はアルトサックスの演奏」タマネギ農家をされている方の「甘くて美味しいタマネギ自慢と作り方」そして「合唱は心のリラックス合唱団で楽しく活動」をされている方々の原稿や写真を紹介しました。また、創立50周年記念事業実行委員会と協同で「透析患者がつくった透析患者のための元気アップ運動&日常役立つ透析用語集」の冊子を発行しました。

1. ブロック交流会
中止

2. 地域学習会
阪神（7/25、12/5）神戸（12/5）東播（11/28）淡路（11/14、21、28）
但馬（11/28）

3. 腎臓病の医療と福祉、栄養相談事業

(1)医療と福祉相談

- ①全国腎臓病協議会が実施する電話相談の紹介
- ②事務局員による相談(随時)

(2)栄養相談

- ①管理栄養士による電話相談
実施日時 第3木曜日 10:00~15:00
- ②会報誌「きぼう」に管理栄養士による「新・栄養講座」を連載

4. 女性対象事業

(1) 交流会の開催

- ①日時：11月21日(日)
- ②丹波篠山市 四季の森生涯学習センター
- ③『和・話。輪でつながろう』

(2)会報誌「きぼう」に女性委員の紹介

- ①第152号より連載

(3)委員会の開催

- ①第1回 8/22 10:30~15:00 福建会館
- ②第2回 1/15 10:30~14:00 福建会館

5. Genki-up 委員会

(1)会報誌「きぼう」に生きがいシリーズを掲載

(2)創立50周年記念事業実行委員会と協同で『透析患者がつくった透析患者のための元気アップ運動&日常役立つ透析用語集』の発行

(3)委員会の開催

- ①第1回 6/5 10:00~12:00 福建会館
- ②第2回 11/27 10:00~13:00 福建会館

6. 腎不全治療食の講習、調理実習会の共催
中止

7. 自立支援のための事業所運営

(1)兵庫県腎友会を母体とする事業所

- ①西宮市 地域活動支援センター太陽
- ②姫路市 就労継続支援B型ワークスペース恵

(2)運営体制

- ①代表者 松菱理恵子
- ②支援員の配置

V. 介護を要する難病患者の支援事業

コロナ禍のなか、事業推進には困難を極めており、介護施設訪問などの情報収集においてもできていない状況です。そのなかでも人数制限をしながら介護職員

研修会を開催した市町もあり、これからも講師を派遣して推進していきます。また、要介護対策委員会も開かれていない状況ですが、市町要望懇談会のなかで要介護透析患者の介護施設等への入居促進をお願いしました。

1. 通院支援対策
(1)市町要望懇談
2. 要介護対策
(1)会報誌「きぼう」での関連記事を掲載
(2) ケアマネージャへの研修会の開催
(3) 市町地域包括支援センター（連絡協議会）との情報交換
3. 通院支援団体への支援
西宮市 NPO法人支援の会ひまわり
神戸市 NPO法人ジャスミン
4. 入所施設に関する情報の収集と提供
5. ウェブサイトでの情報提供
6. 要介護対策委員会の開催

VI.腎臓病患者の医療と福祉に関する調査研究と情報収集及び提供事業

会報誌「きぼう」は計画通り4回発行することができました。特に創立50周年記念特別号（No.154）は、兵庫県知事と神戸市長はじめ過去最多の多方面の方からのご祝辞と特別寄稿を賜り掲載させていただきました。長期透析者の「それぞれの透析とこれから」も併せて紹介し、年表と歴代役員と要望懇談の10年も記録として掲載しました。二年目のコロナ禍ということで活動の自粛から事業報告による情報提供が激減する結果となってしまいました。No.152では「コロナワクチン接種効果」「透析患者が備えるコロナ対策」を赤塚先生と山本先生の協力のもと重点的広報しました。Genki-up委員会から「私の生きがいシリーズ」、女性委員会から「粹に生きる透析ライフ」が企画され連載し好評を得ました。また「認知症予防、栄養講座、移植医療情報、PD情報」など定番にもひと工夫され好評でした。「地域だより」ではコロナ禍での行事が各ブロックともに中止され、誌面作りで工夫を凝らしました。編集面では、県内の地域の見どころ散策として紹介しましたが、県内でも外出制限が厳しくなったことは残念です。「リハビリクイズ」や「ふれ愛ひろば」は、会員相互の交流の場となっています。視覚障害者向け「声のきぼう」も発行しました。課題としては、会報等の配付が役員不足の患者会に負担となってきていることが挙げられます。

1. 腎臓病患者の医療と生活に関する調査研究事業
(1)兵庫県内透析患者数調査
①時期 年末から年始に掛けて(12月31日現在の患者数の把握)
2. 正会員・理事の研修会の開催
(1)正会員(代表幹事)研修会
社員総会を縮小したため研修会は中止
(2)理事研修会
理事会を書面表決としたため中止
3. 会報誌「きぼう」の発行(年4回)
①発行 No.152(4月) No.153(7月) No.154(10月) No.155(1月)
②編集委員会の開催 各号発行後、次号の内容について

4. 「事務局だより」「家族会ニュース」の発行

- ①事務局だより No.186 (11/15)
- ②家族会ニュース 春号 秋号

5. ウェブサイトによる情報提供

- ①組織委員会のなかで新たに「ウェブサイト」リニューアルのためのWeb 委員会を設置
- ②需要の少ない「一斉配信メール」事業は今年度で終了

Ⅶ. 他団体との連携、交流事業

兵庫県腎友会は兵庫県難病連をはじめとする難病団体に所属し、難病団体としての活動も行っています。毎年2回実施している難病相談会を淡路市と三木市でコロナ感染縮小期に開催しました。JPA 近畿ブロック交流会 in 京都はリモートで参加し、実習船による支援船訓練・ひょうご安全の日推進事業などは感染拡大のため中止となりました。

その他、市民講座は開催できなかったものの兵庫県腎疾患対策協会、兵庫県臓器移植推進協議会と連携し、腎移植の推進に協力しました。

1. (一社)全国腎臓病協議会への参加

- (1)全国大会 (5/16) 中止
- (2)近畿ブロック会議への参加
 - ①前期 9/14、11/18 ウェブ会議 松菱会長
 - ②後期 2/22 ウェブ会議 松菱会長、小谷副会長
- (3)第7回通常総会への参加
中止
- (4)全国代表者シンポジウムへの参加
11/28 リモート 松菱会長
- (5)請願活動の協力
 - ①第51次国会請願
 - ②国会請願行動
3/17 中止

2. 兵庫県透析医会との協力体制

- (1)災害対策合同委員会への参加
開催なし
- (2)支援船訓練への参加
中止

3. (一社)兵庫県難病団体連絡協議会への参加

- (1)定期総会への参加
 - ①日時 6月13日(日) 書面表決による総会
- (2)「医療・生活」相談会の開催協力と参加
 - ①第85回 (日時: 11月14日(日) 会場: 淡路市) 淡路ブロック学習会
 - ②第86回 (日時: 11月28日(日) 会場: 三木市) 東播ブロック学習会
- (3)担当役員の派遣と幹事会等への出席
 - ①理事 小谷眞行
 - ②幹事 浜本 宏
- (4) JPA 近畿ブロック交流会 in 京都
 - ①日時 2022年1月16日(日) Zoom で開催
- (5)ひょうご安全の日推進事業
 - ①日時 2022年2月21日(日) 延期 5/12 開催